

# イーストスプリング・ インドネシア株式オープン

追加型投信／海外／株式

作成対象期間 2022年5月13日～2022年11月14日

第26期 2022年11月14日決算

日経新聞掲載名: ネシア株

第26期末	基準価額	10,625円
	純資産総額	8,050百万円
第26期	騰落率	7.2%
	分配金合計	300円

(注)騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主としてインドネシアの金融商品取引所に上場されている株式を主な投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

## イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

<https://www.eastspring.co.jp/>

[お問い合わせ先]

電話番号：03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

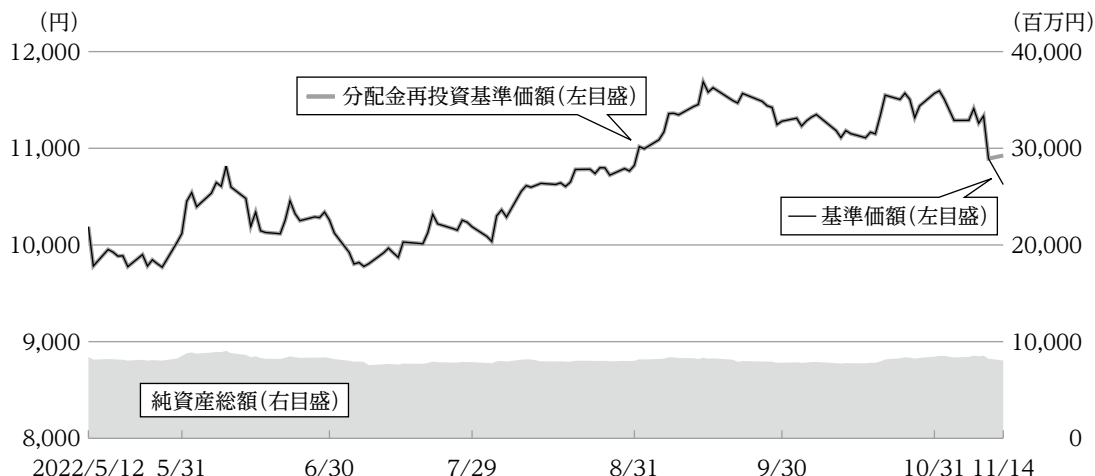
<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

ホームページにアクセス ⇒ 「ファンド情報」を選択 ⇒ ファンド名を選択 ⇒ 「目論見書・月報・運用報告書等」の「運用報告書(全体版)」を選択

## 運用経過

### 基準価額等の推移について

(2022年5月13日～2022年11月14日)



第26期首	10,189円
第26期末	10,625円 (既払分配金300円)
騰落率	7.2% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

### 基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

上昇要因

- ・インドネシア株式市場が上昇したこと。
- ・インドネシアルピアが対円で上昇したこと。

## 1 万口当たりの費用明細

(2022年5月13日～2022年11月14日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	80円	0.746%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,705円です。
(投信会社)	(33)	(0.308)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(45)	(0.420)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	( 2)	(0.017)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	1	0.013	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(監査費用)	( 1)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	( 1)	(0.006)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(その他1)	( 0)	(0.000)	信託管理事務に係る手数料
合計	81	0.759	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

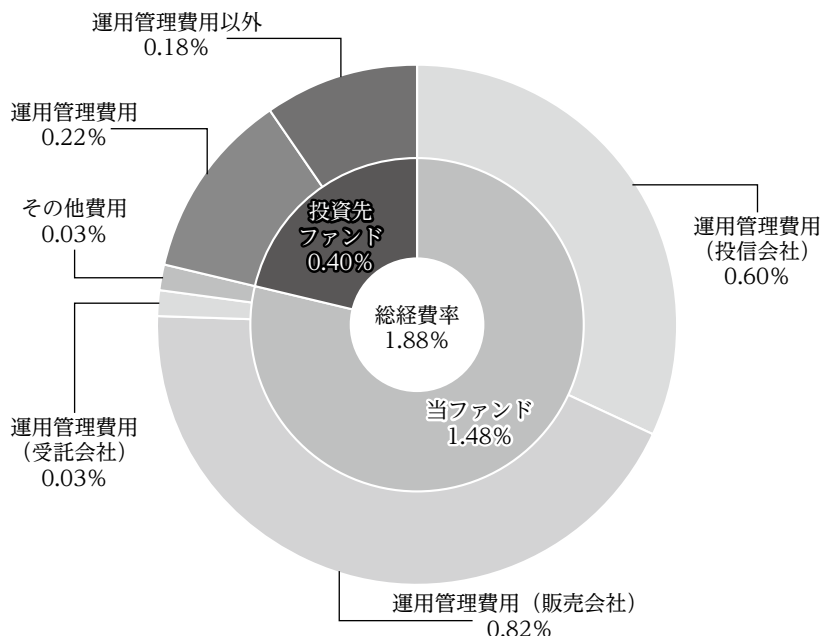
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## (参考情報)

### ■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.88%です。



総経費率 (①+②+③)	1.88%
①当ファンドの費用の比率	1.48%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.22%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.18%

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について（2017年11月13日～2022年11月14日）



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2017年11月13日の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

決算日		2017/11/13	2018/11/12	2019/11/12	2020/11/12	2021/11/12	2022/11/14
基準価額	(円)	10,176	8,816	9,087	7,539	8,624	10,625
期間分配金合計（税引前）	(円)	—	0	0	0	0	300
分配金再投資基準価額の騰落率(%)		—	-13.4	3.1	-17.0	14.4	26.7
純資産総額	(百万円)	15,040	10,955	9,455	7,252	7,444	8,050

\*当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

### インドネシア株式市場

当期のインドネシア株式市場は上昇しました。

インドネシア株式市場は、期初から2022年5月下旬にかけて堅調な商品市況を好感して上昇しましたが、7月中旬にかけては世界的に金融引き締めによる景気減速が意識され、商品価格などが軟調となったため下落しました。その後、パウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長が利上げペースの鈍化を示唆し、世界的にリスク選好が高まる中、インドネシア株式市場は9月中旬にかけて上昇しました。しかし、米国がインフレ率の上昇を背景に大幅な利上げに踏み切り、引き締め姿勢を強めたことから世界的にリスク回避姿勢が強まり、インドネシア株式市場は期末にかけて下落しましたが、良好なファンダメンタルズを背景に他のアジア各国と比較して下落幅は抑えられました。

### 為替市場

当期のインドネシアルピアは対円で上昇しました。

期初から2022年7月中旬にかけて米国の金融引き締め観測から米ドルが買われ、ルピアは対米ドルで弱含みとなりました。その後、パウエルFRB議長の発言を受けてルピアはやや上昇する局面も見られましたが、安値圏でもみ合いとなりました。しかし、9月中旬以降は米国のインフレ急伸を受けて金融引き締め姿勢の加速が意識され、米ドルが大幅に上昇しました。ルピアは対米ドルでは期末にかけて弱含みとなりました。

一方、低金利政策を維持する日本と米国の金利差が意識され円安が進行したため、ルピアは9月中旬にかけて対円で大幅に上昇しました。10月中旬から期末にかけては円高の一面からルピアは下落しましたが、期を通じてみれば対円では上昇しました。

### 国内債券市場

期初から2022年7月中旬にかけて日本国債利回りは狭いレンジでの推移となりました。8月の上旬にかけて欧米の長期金利の低下を受けて利回りは低下（価格は上昇）しましたが、その後は米国の引き締め姿勢の加速が意識され上昇しました。期末にかけては再び狭いレンジでの推移となりました。

## ポートフォリオについて

### 当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ（以下「インドネシア・エクイティ」ということがあります。）の組入比率を高位に保つよう運用しました。

### インドネシア・エクイティ

主としてインドネシアの金融商品取引所に上場されている株式を主要な投資対象として、企業の本質的な価値を重視したバリュー投資を基本とし、ボトムアップ・アプローチに基づく銘柄選択により、中長期的な超過収益の獲得を目指した運用を行いました。

当期は石炭会社Adaro Energy、コンビニエンスストア運営会社Sumber Alfaria Trijaya、大手銀行Bank Mandiriの保有などがプラスに寄与した一方で、デジタル銀行Bank Jago、大手銀行Bank Rakyat、セメント会社Semen Indonesia、鉱山会社Aneka Tambangの保有などがマイナスに影響しました。

### イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型I（適格機関投資家向け）

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（1-10年債）を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

### 分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）

項目	第26期	
	2022年5月13日 ~2022年11月14日	
当期分配金	(円)	300
（対基準価額比率）	(%)	2.746
当期の収益	(円)	300
当期の収益以外	(円)	-
翌期繰越分配対象額	(円)	1,818

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)-印は該当がないことを示しています。

## 今後の運用方針について

### 当ファンド

主要な投資対象の一つであるインドネシア・エクイティの組入比率を高位に保つことを基本とします。

### インドネシア・エクイティ

インドネシアの長期的な見通しについては、人口動態の有利性や健全なマクロファンダメンタルズなどを考慮し、引き続き前向きに捉えています。2022年のインドネシアの国内総生産（GDP）成長率は、経済活動の再開と堅調な輸出により前年比+5%を超えると予想しています。パーム油、石炭、ニッケルなどの主要輸出国であるインドネシアは商品価格上昇の恩恵を受けているだけでなく、政府の債務比率も相対的に低いため、必要であれ

ば財政刺激策を講じる余地もあります。一方で、インドネシアは外資への依存度が高いことから、投資家のリスク回避姿勢が強まる局面では通貨の下落に注意が必要です。今後の状況を注視しつつ、市場の調整局面はファンダメンタルズが堅固な企業の株式を割安な水準で組み入れる好機と考えています。

### イーストスプリング国内債券ファンド （国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行い、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（1-10年債）を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。



## お知らせ

当ファンドの投資対象である外国投資信託証券「イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ」における管理費用等が、2022年7月1日付で引き下げられました。これにより、実質にご負担いただく運用管理費用（信託報酬等）は年率1.888%程度（税込）から年率1.838%程度（税込）に変更されております。

## 当ファンドの概要

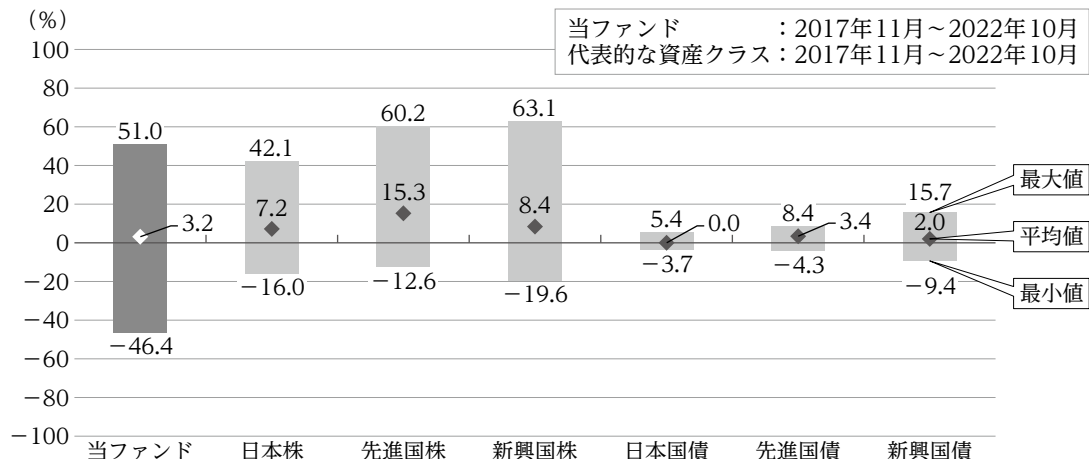
商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（2009年11月30日設定）
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドネシアの金融商品取引所に上場されている株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ」の投資証券（米ドル建て）およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型I（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	以下の投資制限のもと運用を行います。 <ul style="list-style-type: none"><li>・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。</li><li>・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</li><li>・株式への直接投資は行いません。</li></ul>
分配方針	毎決算時（毎年5月12日および11月12日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。

## 指数に関して

当ファンドの投資対象である「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型I（適格機関投資家向け）」のベンチマークについて

ICEデータ・サービスおよびその関連会社は、提供するインデックスデータに関してその継続性、正確性、完全性を保証するものではなく、当該データ提供に係り発生し得る損害についてもその事由の如何を問わず責任を負うものではありません。

## (参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※当ファンドと代表的な資産クラスについて、上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示し、定量的に比較できるように作成したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

### 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社 (以下「J P X」という。) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など TOPIX に関するすべての権利・ノウハウ及び TOPIX に係る商標又は商標に関するすべての権利は J P X が有します。J P X は、TOPIX の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCI Inc. が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は MSCI Inc. に帰属します。また MSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	
日本国債	NOMURA-BPI 国債	野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。
先進国債	J P モルガン G B I グローバル (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権は J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。
新興国債	J P モルガン G B I - E M グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

## ファンドデータ

### 当ファンドの組入資産の内容

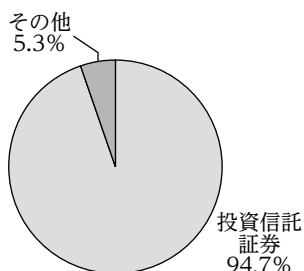
#### 組入ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

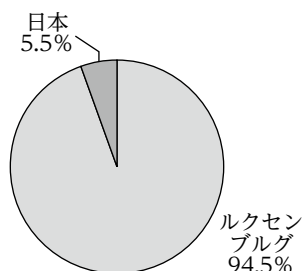
ファンド名	第26期末 2022年11月14日
イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ	94.5%
イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型I(適格機関投資家向け)	0.2%

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

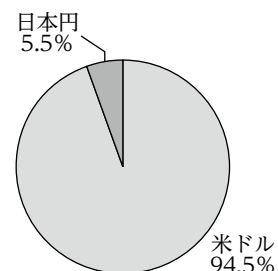
#### 資産別配分



#### 国別配分



#### 通貨別配分



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

### 純資産等

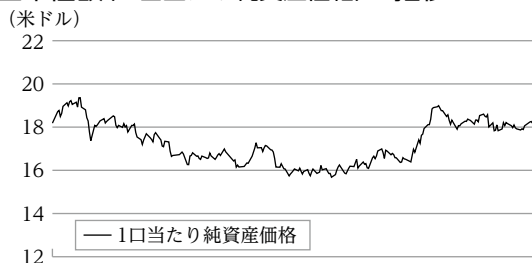
項目	第26期末 2022年11月14日
純資産総額 (円)	8,050,249,237
受益権総口数 (口)	7,576,942,767
1万口当たり基準価額 (円)	10,625

\*当期中において追加設定元本額は1,857,810,843円、一部解約元本額は2,547,542,520円です。

## 組入上位ファンドの概要

### <イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ>

#### 基準価額(1口当たり純資産価格)の推移



2020/12/31

2021/12/31

#### 1万口当たりの費用明細

(2021年1月1日～2021年12月31日)

当該期間のAnnual Report (監査済み) には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

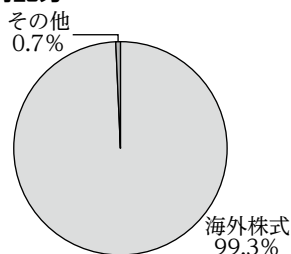
以下は、イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンドの内容です。

#### 組入上位10銘柄(組入銘柄数：27銘柄)

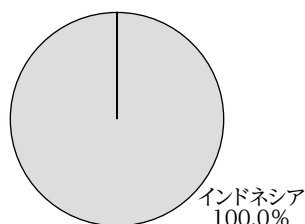
(2021年12月31日現在)

銘柄名	業種	国・地域	比率
Telkom Indonesia Persero Tbk PT	電気通信サービス	インドネシア	9.6%
Bank Rakyat Indonesia Persero Tbk PT	銀行	インドネシア	8.9%
Bank Central Asia Tbk PT	銀行	インドネシア	8.2%
Astra International Tbk PT	自動車・自動車部品	インドネシア	6.4%
Bank Negara Indonesia Persero Tbk PT	銀行	インドネシア	5.8%
Merdeka Copper Gold Tbk PT	素材	インドネシア	4.9%
Adaro Energy Tbk PT	エネルギー	インドネシア	4.8%
Bank Mandiri Persero Tbk PT	銀行	インドネシア	4.7%
Sarana Menara Nusantara Tbk PT	電気通信サービス	インドネシア	4.7%
Indofood Sukses Makmur Tbk PT	食品・飲料・タバコ	インドネシア	4.6%

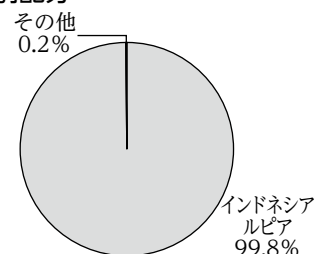
#### 資産別配分



#### 国別配分



#### 通貨別配分



(注1) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの(監査済みおよび同時点の関連データを含む)を使用しています。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

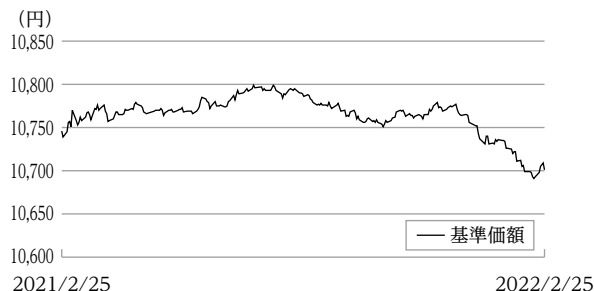
(注3) 通貨別配分において、基準日をまたぐ為替取引等の計上により数値がマイナスになることがあります。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

## 組入上位ファンドの概要

### <イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）>

#### 基準価額の推移



#### 1万口当たりの費用明細

(2021年2月26日～2022年2月25日)

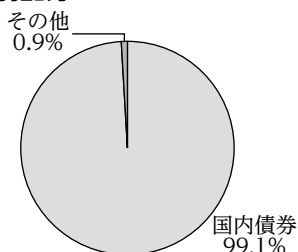
項目	金額	比率
(a) 信託報酬	24円	0.220%
（投信会社）	(15)	(0.143)
（販売会社）	( 2)	(0.022)
（受託会社）	( 6)	(0.055)
(b) その他費用	2	0.014
（監査費用）	( 2)	(0.014)
合計	26	0.234

#### 組入上位10銘柄（組入銘柄数：12銘柄）

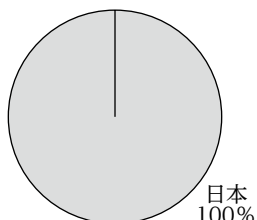
（2022年2月25日現在）

銘柄名	種別	利率	償還日	国・地域	比率
第91回利付国債（20年）	国債	2.3%	2026/9/20	日本	21.7%
第359回利付国債（10年）	国債	0.1%	2030/6/20	日本	13.1%
第87回利付国債（20年）	国債	2.2%	2026/3/20	日本	8.7%
第354回利付国債（10年）	国債	0.1%	2029/3/20	日本	8.6%
第63回利付国債（20年）	国債	1.8%	2023/6/20	日本	7.5%
第351回利付国債（10年）	国債	0.1%	2028/6/20	日本	7.3%
第321回利付国債（10年）	国債	1.0%	2022/3/20	日本	7.3%
第67回利付国債（20年）	国債	1.9%	2024/3/20	日本	6.8%
第80回利付国債（20年）	国債	2.1%	2025/6/20	日本	5.9%
第117回利付国債（20年）	国債	2.1%	2030/3/20	日本	4.6%

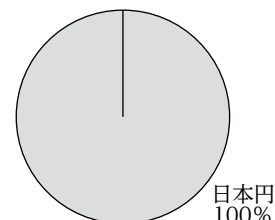
#### 資産別配分



#### 国別配分



#### 通貨別配分



（注1）1万口当たりの費用明細の項目の概要および注記については、2ページの「1万口当たりの費用明細」の記載をご参照ください。

（注2）組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。